

平成29年7月1日(土) KKRホテル熊本

「会長理事・市P担当副会長理事合同研修会」

全体研修会



市P組織の概要および役職や委員会の役割、単Pにおける会長及び市P担当副会長のなすべきことなどについて、スライドを用いてわかりやすく丁寧な説明がありました。それぞれの役職のあり方など、参加者が熱心にメモを取る様子も見られました。

最後に、昨年度正式加盟した日本PTA全国協議会の組織について説明があり、参加者の関心を集めていました。

会長理事



市P担当副会長よりスクールソーシャルワーカー(以下、SSW)の活動・役割について説明がありました。SSWとは、「社会福祉士」「精神保健福祉士」の国家資格を持った専門職であり、熊本市には9名のSSWが活動しています。昨年の熊本地震を経験し、保護者・学校・地域・関係機関と緊密に連携していくことの大切さを再認識させられました。

【SSWのキーワード】

- ・「つなぐ」学校・家庭・地域をつなぐ
- ・児童生徒が抱える課題に対して、本人を取り巻く人々と連携しながら児童生徒やその家族をサポート
- ・「ささえる」子ども・家庭・教

年一度、熊本市内の小中学校PTAから会長および市P担当副会長が一堂に集う研修会が、開催されました。この研修会は、熊本市PTA協議会(以下、市P)理事として研さんを深めるとともに、広く他校の様子を知り、相互の親睦が図れる貴重な場となっています。

全体会は、市P家人会長の挨拶から始まりました。

家人会長ご自身の経験も踏まえて、単位PTA(以下、単P)でリーダーとしての苦悩もあるが、ひとりで抱え込まずに周りの人との支え合いで成り立っていること。リーダーだからこそ、周りの人に感謝することの大切さ。そして、市Pという組織は各区PTA連絡会や各単Pなどと一緒に、それぞれのPTA活動がスムーズに行えるよう、子どもたちが安心・安全で健全に育つよう、そしてより良い環境づくりができるよう共に活動している仲間であることを話されました。

次に、市P建山副会長から市Pの活動について説明がなされました。

職員を支える

児童生徒本人および家族、または教職員に対しても、社会福祉援助の視点からサポート「つくる」よりよい地域社会をつくる

児童生徒たちの育成・発達にとって安心できる地域づくりのサポート

そして、各単P会長が8つのグループ(10名程度)に分かれて事前アンケートをもとに、それぞれの気になる問題点について意見交換を行いました。さらに、単Pでのさまざまな活動や課題とその時の対応などを、グループ毎に討議し、情報共有を図りました。

その後も、グループ内で新任単P会長から経験豊富な単P会長へ質問や情報交換が行われ、約1時間半にわたる会長部会研修会は終了しました。

市P担当副会長理事

市P担当副会長理事部会研修会では、元市P会長の緒方玲子氏を講師に迎え、「市P担当副会長としての関わり方」と題し講演が開かれました。

まず、市P担当とは、20年程前に「婦人部会」から変更されて設置され、他団体にはない熊本市PTA協議会独自の役職であるとの



話がなされました。婦人部会から変わったこの役職も、現在では男性がかなり増えてきているそうです。

市P担当副会長とは、会長の補佐という立場だけではなく、市Pや他校PTAとの連携、市Pにおける委員など、広く活動の場があります。その中で、単Pの顔として、言動が常に見られていることも意識しなければならぬと伝えられました。

市Pや各区PTA連絡会での活動を通して、自己研さんの場、交流の場、繋がる場をいかに活用していくか。受動的ではなく、能動的に活動することの意味と、意義に気づかされました。

後半は、中学校・小学校、それぞれ6名程度のグループに分かれて、「市P担としての悩み」をテーマに意見交換が行われました。

初対面の者同士で、自己紹介からスタートしましたが、それぞれ抱える悩み事を伝え合っているうちに、共感したり新たな発見があったりと大いに盛り上がりしました。

会長はもちろんですが、市P担という立場も単Pではひとり。悩みや不安があっても、単Pの中からは理解を得ることができないこともあります。だからこそ、このような「同じ立場の人とつながる場」がとても有意義だと感じた研修会となりました。

(出水中学校 徳山理恵)
(健軍小学校 川東弘昭)

前会長あいさつ

「感謝」



熊本市PTA協議会 前会長 坂本隆生

退任者を代表しましてご挨拶させていただきます。

28年度は震災からのスタートでした。皆様におかれましては各単位PTAでの避難所対応や、各ご家庭での子どもたちへの心のケアなど大変な1年ではなかったでしょうか。

本協議会も地震の影響で事務局が2度の移転をするという異例の年になりました。

しかし、そのような状況でも協議会の運営は待ってくれませんでした。余震が続く不安な中でも大事な家族を残し協議会運営の為に役員、常任理事の方々には、熊本市の子どもたち、保護者の為に数多くの打ち合わせや会議に参加していただきました。まずはこの場をお借りして感謝申し上げます。

さて、昨年度は日本PTA全国協議会、九州ブロックPTA協議会へ加盟いたしました。

4月の震災の際はまだ加盟前にもかかわらず全国の仲間から多くの励ましや義援金を頂きました。そして各単位PTAにお配りさせて頂きました。

私も日Pや九プロの会議に参加させて頂きました。全国的にいろいろな言葉で熱く語り合えることがありがたく思い、改めて横のつながりを強く感じる次第でありました。

ただ、そのような内容をなか

なか皆様までお届けする場面が設定できず申し訳ございませんでした。

今現在、PTAを取り巻く現状は日々変化しております。単PPTAの中でも様々な課題があることでしょう。それぞれ課題等は違うとは思いますが、同じ市Pの仲間、チーム熊本として、一つ一ついねいに協議を重ね解決していただければと存じます。

最後になりましたが、会員の皆様は今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。ご発展させていただけます。

本日は誠にありがとうございます。

受賞者発表

今年度は熊本市長表彰3人、熊本市教育長表彰11人、熊本市PTA協議会個人表彰12人、団体表彰1団体が受賞され、受賞者を代表して熊本市長表彰の楠本様からご挨拶がありました。



- 【熊本市長表彰】(3人)
- 坂本 隆生 (力合中学校)
 - 楠本 誠二 (藤園中学校)
 - 惠濃 善郎 (錦ヶ丘中学校)

- 【熊本市教育長表彰】(11人)
- 小田 栄一 (大江小学校)
 - 赤石 宗知 (花園小学校)
 - 伊藤伸一郎 (河内中学校)
 - 柳山 英明 (富合中学校)
 - 富重偉一郎 (二岡中学校)
 - 岩村 匡 (限庄小学校)
 - 稲田 大志 (清水中学校)
 - 橋口奈津子 (東部中学校)
 - 堀江 美穂 (城西小学校)
 - 溝口 宙司 (菱形小学校)
 - 小城 一浩 (楠中学校)

- 【熊本市PTA協議会個人表彰】(12人)
- 稲田 里加 (池田小学校)
 - 中屋 重矢 (池田小学校)
 - 堀田 雪乃 (池田小学校)
 - 佐々木美穂 (画図小学校)
 - 金井 俊行 (川尻小学校)
 - 平川 博章 (帯山西小学校)
 - 内島英和 (日吉東小学校)
 - 村上亜紀子 (日吉東小学校)
 - 水田 全治 (日吉東小学校)
 - 倉岡 秀邦 (杉上小学)
 - 松永さゆり (限庄小学校)
 - 堀 よしみ (帯山中学校)

- 【熊本市PTA協議会団体表彰】(1団体)
- 川尻小学校 愛育会(PTA)
- 代表 稲田 正信会長
- ・川尻小マスコット「ラックルくん」のゆるキャラを着ぐるみ化、復興のシンボルに子どもたちと共に、復興の絵を作成
 - ・旅する蝶、「アサギマダラ」のマーケティング活動
 - ・復興緑日バザー益金で育成クラブに防犯ベル設置
 - ・創立140周年記念に140mのお菓子作り挑戦
 - ・川尻おやじの会「ラックルくん」と共に益城町で復興イベント
- 【熊本市PTA協議会善行表彰】(該当なし)